



TITLE:

# 表紙・目次 (泌尿器科紀要 第29巻 第11号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第29巻第11号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要 1983, 29(11): 1566-1566

ISSUE DATE:

1983-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/120275>

RIGHT:



# 泌尿器科紀要

第29巻 第11号 1983年11月

- 職業性尿路癌の生化学……………松島 正浩・安藤 弘…1383  
尿管S状結腸吻合術の臨床的検討……………高崎 登・ほか…1395  
尿管S状結腸吻合術後患者の大腸鏡による観察……………高崎 登・ほか…1401  
経腹の後腹膜リンパ節吸引生検法……………星 宣次・ほか…1411  
前立腺肥大症に対する chlormadinone acetate の臨床効果  
一超音波断層法による前立腺の形態および重量の変化  
(3ヵ月間)の検討……………吉田 英機・ほか…1419  
膀胱内注入療法に関する研究……………山中 英寿・ほか…1427  
前立腺癌に対する Peplomycin の筋注と癌組織内局注療法……………藤本 佳則・ほか…1433  
当院8年間の膀胱全摘除術施行症例の臨床統計……………荒井 陽一・ほか…1443  
<sup>123</sup>I-orthohippurate を用いた renoscintigram および functional image,  
ことに水腎症における応用……………伊藤 坦・ほか…1451  
閉塞性腎疾患に関する臨床的検討  
第2報: 閉塞腎の機能と <sup>99m</sup>Tc-Dimercaptosuccinic Acid  
(DMSA) 腎摂取率の関係について……………村山 鉄郎・ほか…1463  
細胞診による膀胱腫瘍術後の評価……………川地 義雄…1469  
Photocystoscopy —新しい光学視管とポラロイドカメラの  
使用経験を中心に……………三木 誠・ほか…1475  
過去10年間の小児先天性神経因性膀胱症例に関する臨床的検討  
……………川口 光平・久住 治男…1481  
Circle tube nephrostomy —Nephrostomy tube ならびに  
Connector の試作……………村上 光右・ほか…1493  
転移性腎腫瘍……………杉山 高秀・ほか…1499  
家族性膀胱尿管逆流現象……………朴 勺・ほか…1507  
Basedow 氏病に対する <sup>131</sup>I 治療の既往のみられた  
副甲状腺機能亢進症の1例……………川村 寿一・ほか…1513  
腎平滑筋肉腫の1例……………金丸 洋史・佐々木美晴…1521  
停留睾丸腫瘍の5例……………佐藤 信夫・ほか…1525  
副甲状腺機能亢進症を伴った両側副甲状腺嚢腫の1例(英文)……………郭 俊逸・ほか…1531  
淋菌性感染症の疫学的・治療学的研究(1)  
一持続性アモキシシリン(L-AMPC)による検討……………熊本 悦明・ほか…1537

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

禁帯出

到着後 1ヶ月間

## 購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 6,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る、口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
  - (i) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文 7 頁 (400字×28枚程度) 図 (Fig) 10枚、表 (Table) 5枚までとする。
  - (ii) 和文原稿はB 5版 400 字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
  - (iii) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名 (山田：または 山田・ほか：) と、2語 (例：前立腺がん・PSAP) からなる running title および 5語 (英文) 以内の key words を付す。
  - (iv) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
  - (v) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
  - (vi) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %, °C, pH などとする。
  - (vii) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。  
(例：山田<sup>1,3,7)</sup>, 田中ら<sup>1,3-10)</sup>によると)  
雑誌の場合—著者名 (全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年  
単行本の場合—著者名 (全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町 54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
3. 掲載
  - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
  - (2) 紙代、印刷費および最初 1 頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷
 

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次      前川 正信      宮崎 重      新谷 浩  
                園田 孝夫      友吉 唯夫      吉田 修 (主 幹)

---

泌尿器科紀要 第29巻 第11号      1983年11月25日 印刷      1983年11月30日 発行  
発行 吉田 修      顧問 加藤 篤二      発行所 泌尿器科紀要刊行会  
〒606 京都市左京区聖護院川原町54      京都大学医学部泌尿器科学教室 電話 (075) 751-3327 (直通)  
印刷所 山代印刷株式会社      京都市上京区寺之内通小川西入

---